事務事業チェックシート

事務事業No　　事業名

18470　**諸外国等交流事業**

［長期総合計画］

分野別目標	1	安定した雇用を生み出す産業が元気なまち
政　策	5	国際交流の推進
施　策	1	国際交流の推進
取組方針	1	諸外国との交流の推進

［事業基本情報］

事業区分(1)	事業経費		管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務		法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計	一般会計		
	款	商工費		
	項	観光費		
	目	国際交流費		
	大事業	国際交流事業		
	中事業	諸外国等交流事業		

事業種別	継続	関連個別計画			
事業年度	無し　～　無し	担当課・担当課長・Tel	国際交流課	稲垣　隆紀	435-1010
事業実施の根拠法令		関連課			

1　事業内容

	（「誰・何」をどういう状態にするための事業か）	全体事業概要
事業目的	諸外国等との交流を通して相互理解を深める。	台湾（台北市・高雄市）への訪問団派遣、台湾（台北市・高雄市）からの訪日団受入れ対応及び諸外国からの来客対応等を実施する。

事業内容	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
	訪問団の派遣 訪日団の空港送迎・市内案内・歓送迎会・表敬訪問 総領事等の諸外国からの来客対応	日米草の根交流サミット和歌山大会に係る地域分科会の実施、高雄市と交流促進に関する覚書の締結、紀州庵創建イベントへの参加、高雄市スマートサミット参加。 総領事等の諸外国からの来客対応。	紀州庵創建イベントへの参加、高雄市写真展の実施、台湾の夕べの開催、台北市訪日団の受入れ。	訪問団の派遣 訪日団の空港送迎・市内案内・歓送迎会・表敬訪問 総領事等の諸外国からの来客対応	

2　事業コスト

事業費等（千円）		令和05年度		令和06年度		令和07年度		令和08年度		令和09年度	
		当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費		4,716	3,611	6,421	4,544	6,291	4,479	3,868	0	0	0
伸び率（%）		△4.3%	30%	36.2%	25.8%	△2%	△1.4%	△38.5%	△100%	△100%	0%
人件費	正規職員	6,702	6,857	6,863	7,253	7,005	8,438	8,438	0	0	0
	正規職員以外	1,294	1,294	1,293	1,542	1,445	1,775	1,775	0	0	0
	小計	7,996	8,151	8,156	8,795	8,450	10,213	10,213	0	0	0
国庫支出金		777	628	1,237	459	1,599	1,275	709	0	0	0
県支出金		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市　債		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
そ の 他		0	0	150	110	0	125	0	0	0	0
一般財源（税等）		3,939	2,983	5,034	3,975	4,692	3,079	3,159	0	0	0
所要人数（人）	正規職員	0.86	0.88	0.88	0.93	0.88	1.06	1.06	0.00	0.00	0.00
	正規職員以外	0.57	0.57	0.57	0.68	0.57	0.70	0.70	0.00	0.00	0.00
主な予算内訳		外国出張旅費404千円、親善交際費1,156千円、イベント委託料2,308千円、日台友好議連交付金1,500千円等									

3　目標及び実績

	指標名	単位		令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
活動指標	諸外国来訪件数	件	目標値	12	12	12	12	12
			実績値	8	6	1		
			達成度(%)	66.6%	50%	%	%	%
			目標値					
			実績値					
			達成度(%)					
成果指標	諸外国来訪者数	人	目標値	50	50	50	50	50
			実績値	81	80	21		
			達成度(%)	162%	160%	%	%	%
			目標値					
			実績値					
			達成度(%)					

4　事業の評価

評価基準						
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい		減少している
[妥当性]事業手段は妥当か		現行の手段でよい	○	一部見直しが必要		見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か		市が行うべき	○	他の主体との協働も可能		市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む		緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない		できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか	○	達成している（90%以上）		おおむね達成（70～90%未満）		達成していない（70%未満）
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある		貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある		できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない		見直しが必要

5　今後の方向性（担当課評価）

事業内容の方向性					
	充実			○	
	現状維持				
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
	コスト投入の方向性				

担当課評価の根拠	本市の国際化を推進する上で、姉妹・友好都市以外の都市に対しても交流を深めていく必要があり、今後はさらに様々な分野での諸外国との交流を促進する。
見直し・改善内容	諸外国と良好な友好関係を築いていく中で、行政レベル間での交流だけにとどまらず、民間同士の交流へ繋げていけるよう取り組む。

事務事業チェックシート

事務事業No　18476　　事業名　**姉妹・友好都市交流事業**

［長期総合計画］

分野別目標	1	安定した雇用を生み出す産業が元気なまち
政　策	5	国際交流の推進
施　策	1	国際交流の推進
取組方針	1	諸外国との交流の推進

［事業基本情報］

事業区分(1)	事業経費		管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務		法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計	一般会計		
	款	商工費		
	項	観光費		
	目	国際交流費		
	大事業	国際交流事業		
	中事業	姉妹・友好都市交流事業		

事業種別	継続	関連個別計画			
事業年度	無し　～　無し	担当課・担当課長・Tel	国際交流課	稲垣　隆紀	435-1010
事業実施の根拠法令		関連課			

1　事業内容

	（「誰・何」をどういう状態にするための事業か）	全体事業概要
事業目的	姉妹都市・友好都市との長期間にわたる交流の積み重ねの上に、お互いの友好信頼関係を築くこと。	姉妹都市（ベイカースフィールド市、リッチモンド市、済州市）からの訪日団の受入れ対応 友好都市（済州市）からの訪日団の受入れ対応 和歌山国際姉妹都市親善協会の補助

事業内容	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
	ベイカースフィールド市の周年事業に係るホームビジットや学校訪問での交流 リッチモンド市の周年事業に係る植樹式の実施や中学生英語暗唱大会への参画 ホームステイ家庭、通訳の手配 訪日団の空港送迎・市内案内・歓送迎会・表敬訪問	ベイカースフィールド市学生訪日団、リッチモンド市剣道訪日団、済州市ジャズマラソン訪日団・親善訪日団、済南市政治協商会議主席一行の受入れ対応。 ホームステイ家庭・通訳の手配。 和歌山国際姉妹都市親善協会の支援。	ベイカースフィールド市長一行訪日団、ベイカースフィールド市大学教授、リッチモンド市合唱訪日団、済州市ジャズマラソン訪日団の受入れ対応。姉妹・友好都市展示コーナーのリニューアル。 和歌山国際姉妹都市親善協会の支援。	ホームステイ家庭、通訳の手配 訪日団の空港送迎・市内案内・歓送迎会・表敬訪問	

2　事業コスト

事業費等（千円）		令和05年度		令和06年度		令和07年度		令和08年度		令和09年度	
		当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費		9,300	4,311	9,614	7,480	8,448	2,740	6,870	0	0	0
伸び率（%）		22.2%	255.1%	3.4%	73.5%	△12.1%	△63.4%	△18.7%	△100%	△100%	0%
人件費	正規職員	8,338	9,117	9,124	10,372	9,314	12,100	12,100	0	0	0
	正規職員以外	1,725	1,725	1,723	2,154	1,927	2,510	2,510	0	0	0
	小計	10,063	10,842	10,847	12,526	11,241	14,610	14,610	0	0	0
国庫支出金		0	0	0	0	333	311	525	0	0	0
県支出金		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市　債		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
そ の 他		9,300	4,309	10,059	3,908	8,115	2,426	6,499	0	0	0
一般財源（税等）		0	2	△445	3,572	0	3	△154	0	0	0
所要人数（人）	正規職員	1.07	1.17	1.17	1.33	1.17	1.52	1.52	0.00	0.00	0.00
	正規職員以外	0.76	0.76	0.76	0.95	0.76	0.99	0.99	0.00	0.00	0.00
主な予算内訳		親善交際費3，421千円、自動車借上料2，717千円、姉妹都市親善協会補助金400千円等									

3　目標及び実績

	指標名	単位		令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
活動指標	青少年国際親善交流訪問派遣回数	回	目標値	1	1	1	1	1
			実績値	0	2	0		
			達成度(%)	0%	200%	%	%	%
			目標値					
			実績値					
			達成度(%)					
成果指標	青少年国際親善交流訪問派遣人数	人	目標値	20	20	20	20	20
			実績値	0	60	0		
			達成度(%)	0%	300%	%	%	%
			目標値					
			実績値					
			達成度(%)					

4　事業の評価

評価基準						
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい		減少している
[妥当性]事業手段は妥当か		現行の手段でよい	○	一部見直しが必要		見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か		市が行うべき	○	他の主体との協働も可能		市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む		緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない		できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか	○	達成している（90%以上）		おおむね達成（70～90%未満）		達成していない（70%未満）
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある		一定の貢献度がある	○	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある		できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない		見直しが必要

5　今後の方向性（担当課評価）

事業内容の方向性				
充実				
現状維持			○	
縮小				
廃止				
	ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性				

担当課評価の根拠	アメリカのベイカースフィールド市、カナダのリッチモンド市、韓国の済州市、中国の済南市とは、姉妹・友好都市提携を締結して以来、長年に渡り継続的な交流が行われてきている。この関係をさらに将来へ引き継いでいく必要性があることから一定の事業を継続して行う必要がある。
見直し・改善内容	文化やスポーツ、青少年など民間交流を促進し、実質的な交流の成果が期待できる新たな形の交流の取組を行う。

事務事業チェックシート

事務事業No　　事業名

18471　　**在住外国人支援事業**

［長期総合計画］

分野別目標	1	安定した雇用を生み出す産業が元気なまち
政　策	5	国際交流の推進
施　策	1	国際交流の推進
取組方針	2	在住外国人への支援拡充

［事業基本情報］

事業区分(1)	事業経費		管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務		法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計	一般会計		
	款	商工費		
	項	観光費		
	目	国際交流費		
	大事業	国際交流事業		
	中事業	在住外国人支援事業		

事業種別	継続	関連個別計画			
事業年度	無し　～　無し	担当課・担当課長・Tel	国際交流課	稲垣　隆紀	435-1010
事業実施の根拠法令		関連課			

1　事業内容

	（「誰・何」をどういう状態にするための事業か）	全体事業概要
事業目的	在住外国人が不慣れな土地で暮らしやすいようにする。	在住外国人を対象に、日本語教室及び防災講座等の実施並びに生活情報等の情報発信を実施する。

事業内容	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
	在住外国人のための日本語教室 在住外国人のための防災講座 在住外国人向けのニュースレターの作成等	在住外国人のための日本語教室 在住外国人のための防災講座 在住外国人向けのニュースレターの作成等	在住外国人のための日本語教室 在住外国人のための防災講座 在住外国人向けのニュースレターの作成 在住外国人向け生活ガイドパンフレット作製	在住外国人のための日本語教室 在住外国人のための防災講座 在住外国人向けのニュースレターの作成等	

2　事業コスト

事業費等（千円）		令和05年度		令和06年度		令和07年度		令和08年度		令和09年度	
		当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費		1,337	1,145	813	553	834	737	542	0	0	0
伸び率（%）		58%	△14.9%	△39.2%	△51.7%	2.6%	33.3%	△35%	△100%	△100%	0%
人件費	正規職員	5,533	5,689	5,693	5,147	5,811	6,050	6,050	0	0	0
	正規職員以外	863	863	862	907	964	1,040	1,040	0	0	0
	小計	6,396	6,552	6,555	6,054	6,775	7,090	7,090	0	0	0
国庫支出金		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
県支出金		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市　債		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
そ の 他		1,337	545	813	553	834	660	542	0	0	0
一般財源（税等）		0	600	0	0	0	77	0	0	0	0
所要人数（人）	正規職員	0.71	0.73	0.73	0.66	0.73	0.76	0.76	0.00	0.00	0.00
	正規職員以外	0.38	0.38	0.38	0.40	0.38	0.41	0.41	0.00	0.00	0.00
主な予算内訳		報償金372千円、通信運搬費198千円等									

3　目標及び実績

	指標名	単位		令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
活動指標	防災講座開催回数	回	目標値	3	3	3	3	3
			実績値	3	4	5		
			達成度(%)	100%	133.3%	%	%	%
			目標値					
			実績値					
			達成度(%)					
成果指標	防災講座参加延べ人数	人	目標値	100	100	100	100	100
			実績値	96	17	141		
			達成度(%)	96%	17%	%	%	%
			目標値					
			実績値					
			達成度(%)					

4　事業の評価

評価基準						
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい		減少している
[妥当性]事業手段は妥当か		現行の手段でよい	○	一部見直しが必要		見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能		市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む		緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない		できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している（90%以上）		おおむね達成（70～90%未満）	○	達成していない（70%未満）
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある		貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある		できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない		見直しが必要

5　今後の方向性（担当課評価）

事業内容の方向性					
	充実			○	
	現状維持				
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
	コスト投入の方向性				

担当課評価の根拠	日本語教室や防災講座等は、在住外国人の生活を支援するために必要である。
見直し・改善内容	在住外国人増加の状況に応じた事業拡充の必要性を検討する。

事務事業チェックシート

事務事業No	事業名
18472	**通訳員活用事業**

［長期総合計画］

分野別目標	1	安定した雇用を生み出す産業が元気なまち
政　策	5	国際交流の推進
施　策	1	国際交流の推進
取組方針	3	地域レベルの国際交流推進

［事業基本情報］

事業区分(1)	事業経費		管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務		法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計	一般会計		
	款	商工費		
	項	観光費		
	目	国際交流費		
	大事業	国際交流事業		
	中事業	通訳員活用事業		

事業種別	継続	関連個別計画			
事業年度	無し　～　無し	担当課・担当課長・Tel	国際交流課	稲垣　隆紀	435-1010
事業実施の根拠法令		関連課			

1　事業内容

	（「誰・何」をどういう状態にするための事業か）	全体事業概要
事業目的	地域レベルでの国際交流の進展を図るため。	地域レベルでの国際交流の進展を図るため、市民向けに外国語講座等を実施する。

事業内容	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
	英語、中国語、韓国語の初級外国語講座及び英会話クラブ 翻訳・通訳事務	姉妹都市及び諸外国など（韓国・中国語圏）との交流 学校等での多文化共生に係る事務 翻訳・通訳事務 在住外国人支援	姉妹都市及び諸外国など（韓国・中国語圏）との交流 学校等での多文化共生に係る事務 翻訳・通訳事務 在住外国人支援	英語、中国語、韓国語の初級外国語講座 翻訳・通訳業務 学校での多文化共生講座	

2　事業コスト

事業費等（千円）		令和05年度		令和06年度		令和07年度		令和08年度		令和09年度	
		当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費		11	11	6	6	6	5	6	0	0	0
伸び率（%）		0%	175%	△45.5%	△45.5%	0%	△16.7%	0%	△100%	△100%	0%
人件費	正規職員	3,896	2,884	2,886	2,574	2,946	3,025	3,025	0	0	0
	正規職員以外	772	772	771	817	862	938	938	0	0	0
	小計	4,668	3,656	3,657	3,391	3,808	3,963	3,963	0	0	0
国庫支出金		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
県支出金		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市　債		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
そ の 他		36	0	40	0	0	0	0	0	0	0
一般財源（税等）		△25	11	△34	6	6	5	6	0	0	0
所要人数（人）	正規職員	0.50	0.37	0.37	0.33	0.37	0.38	0.38	0.00	0.00	0.00
	正規職員以外	0.34	0.34	0.34	0.36	0.34	0.37	0.37	0.00	0.00	0.00
主な予算内訳		消耗品費6千円									

3　目標及び実績

	指標名	単位		令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
活動指標	英語、中国語、韓国語講座の開催数	回	目標値	70	60	50	50	50
			実績値	70	60	50		
			達成度(%)	100%	100%	%	%	%
			目標値					
			実績値					
			達成度(%)					
成果指標	英語、中国語、韓国語講座の受講者数	人	目標値	60	60	45	45	45
			実績値	60	60	45		
			達成度(%)	100%	100%	%	%	%
			目標値					
			実績値					
			達成度(%)					

4　事業の評価

評価基準						
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい		減少している
[妥当性]事業手段は妥当か		現行の手段でよい	○	一部見直しが必要		見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か		市が行うべき	○	他の主体との協働も可能		市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む		緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない		できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか	○	達成している（90%以上）		おおむね達成（70～90%未満）		達成していない（70%未満）
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある		貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある		できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない		見直しが必要

5　今後の方向性（担当課評価）

事業内容の方向性				
充実				
現状維持			○	
縮小				
廃止				
	ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性				

担当課評価の根拠	姉妹都市・友好都市先であるカナダ、中国、韓国の出身者をそれぞれ会計年度任用職員として採用し、通訳業務等の日常業務を行う中、語学教室（英語・中国・韓国語）を実施している。当該事業は、市民の国際理解を推進するためには必要である。
見直し・改善内容	今後、語学講座のあり方については、外国語の習得だけではなく、異文化への理解を深めてもらうために、外国の文化・慣習などを紹介するなど、当該事業の充実を図りたい。

事務事業チェックシート

事務事業No　　事業名

18475　**国際交流員活用事業**

［長期総合計画］

分野別目標	1	安定した雇用を生み出す産業が元気なまち
政　策	5	国際交流の推進
施　策	1	国際交流の推進
取組方針	3	地域レベルの国際交流推進

［事業基本情報］

事業区分(1)	事業経費		管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務		法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計	一般会計		
	款	商工費		
	項	観光費		
	目	国際交流費		
	大事業	国際交流事業		
	中事業	国際交流員活用事業		

事業種別	継続	関連個別計画			
事業年度	無し　～　無し	担当課・担当課長・Tel	国際交流課	稲垣　隆紀	435-1010
事業実施の根拠法令		関連課			

1　事業内容

	（「誰・何」をどういう状態にするための事業か）	全体事業概要
事業目的	地域レベルでの国際化を推進する。	国際交流員を招致して地域レベルでの国際交流を推進するため通訳・翻訳業務や多文化共生講座等を実施する。

事業内容	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
	翻訳・通訳業務 学校での多文化共生講座等	姉妹都市・諸外国（英語圏）との交流事務 学校等での国際理解教育、多文化共生講座等 翻訳・通訳業務 在住外国人支援	姉妹都市・諸外国（英語圏）との交流事務 学校等での国際理解教育、多文化共生講座等 翻訳・通訳業務 在住外国人支援	翻訳・通訳業務 学校での多文化共生講座等	

2　事業コスト

事業費等（千円）		令和05年度		令和06年度		令和07年度		令和08年度		令和09年度	
		当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費		156	151	150	143	148	1,176	169	0	0	0
伸び率（%）		△78.7%	△70.5%	△3.8%	△5.3%	△1.3%	722.4%	14.2%	△100%	△100%	0%
人件費	正規職員	5,533	2,884	2,886	2,574	2,946	3,025	3,025	0	0	0
	正規職員以外	250	250	250	273	279	305	305	0	0	0
	小計	5,783	3,134	3,136	2,847	3,225	3,330	3,330	0	0	0
国庫支出金		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
県支出金		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市　債		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
そ の 他		19	0	25	0	0	68	24	0	0	0
一般財源（税等）		137	151	125	143	148	1,108	145	0	0	0
所要人数（人）	正規職員	0.71	0.37	0.37	0.33	0.37	0.38	0.38	0.00	0.00	0.00
	正規職員以外	0.11	0.11	0.11	0.12	0.11	0.12	0.12	0.00	0.00	0.00
主な予算内訳		招致事業負担金139千円等									

3　目標及び実績

	指標名	単位		令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
活動指標	国際理解教育の開催数	校	目標値	12	12	12	12	12
			実績値	12	12	12		
			達成度(%)	100%	100%	%	%	%
			目標値					
			実績値					
			達成度(%)					
成果指標	国際理解教育への応募件数	件	目標値	20	20	20	20	20
			実績値	45	47	52		
			達成度(%)	225%	235%	%	%	%
	国際理解教室の参加延べ人数	人	目標値	1600	1000	1000	1000	1000
			実績値	967	1022	820		
			達成度(%)	60.4%	102.2%	%	%	%

4　事業の評価

評価基準						
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい		減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要		見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能		市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む		緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない		できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか	○	達成している（90%以上）		おおむね達成（70～90%未満）		達成していない（70%未満）
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある		貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある		できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない		見直しが必要

5　今後の方向性（担当課評価）

事業内容の方向性	コスト投入の方向性			
	ゼロ	縮小	現状維持	拡大
充実			○	
現状維持				
縮小				
廃止				

担当課評価の根拠	地域の国際交流を推進するとともに、近年、在住外国人の数がますます増加する傾向にあり、国際交流員配置の必要性は高くなっている。国際理解教育をはじめとした各種交流事業を実施するためにも、充実していくべきであると考える。
見直し・改善内容	小学校１・２年生を対象にした、外国文化の紹介等を行う国際理解教育は、毎年実施希望校が多いことから、少しでもニーズに応えられるよう、実施機会の拡大等、当該事業の充実に向けた検討を行いたい。

事務事業チェックシート

事務事業No　　事業名

8496　**農業振興ネットワーク強化事業**

［長期総合計画］

分野別目標	1	安定した雇用を生み出す産業が元気なまち
政　策	5	国際交流の推進
施　策	2	国際戦略の推進
取組方針	2	海外展開の促進

［事業基本情報］

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計	一般会計		
	款	農林水産業費		
	項	農業費		
	目	農業振興費		
	大事業	農業振興事業		
	中事業	農業振興ネットワーク強化事業		

事業種別	継続	関連個別計画			
事業年度	無し　～　無し	担当課・担当課長・Tel	農林水産課	田中　一峰	435-1049
事業実施の根拠法令		関連課			

1　事業内容

	（「誰・何」をどういう状態にするための事業か）	全体事業概要
事業目的	国内外への情報発信及びグリーンツーリズム事業の推進を図る。	農業振興のためのネットワーク強化を図る。

事業内容	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
	市民農園の開設に要する費用の助成を行う。	市民農園の開設に要する費用の助成を行う。	市民農園の開設に要する費用の助成を行う。	市民農園のフォローアップを行う。	

2　事業コスト

事業費等（千円）		令和05年度		令和06年度		令和07年度		令和08年度		令和09年度	
		当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費		1,000	704	1,000	280	750	500	0	0	0	0
伸び率（%）		0%	0%	0%	△60.2%	△25%	78.6%	△100%	△100%	0%	0%
人件費	正規職員	3,195	3,117	3,120	3,588	3,662	2,150	2,150	0	0	0
	正規職員以外	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	3,195	3,117	3,120	3,588	3,662	2,150	2,150	0	0	0
国庫支出金		500	352	0	0	0	0	0	0	0	0
県支出金		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市　債		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
そ の 他		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
一般財源（税等）		500	352	1,000	280	750	500	0	0	0	0
所要人数（人）	正規職員	0.41	0.40	0.40	0.46	0.46	0.27	0.27	0.00	0.00	0.00
	正規職員以外	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
主な予算内訳		市民農園開設等促進事業補助金　７５０千円									

3　目標及び実績

	指標名	単位		令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
活動指標	広報媒体数	媒体	目標値	5	5	5		
			実績値	5	5	3		
			達成度(%)	%	%	%	%	%
			目標値					
			実績値					
			達成度(%)					
成果指標	市民農園開設等数	園	目標値	2	2	2		
			実績値	3	1	2		
			達成度(%)	%	%	%	%	%
			目標値					
			実績値					
			達成度(%)					

4　事業の評価

評価基準						
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい		減少している
[妥当性]事業手段は妥当か		現行の手段でよい	○	一部見直しが必要		見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か		市が行うべき	○	他の主体との協働も可能		市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む		緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない		できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している（90%以上）	○	おおむね達成（70～90%未満）		達成していない（70%未満）
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある		一定の貢献度がある	○	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか		できない	○	制約はあるが可能性はある		できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない		見直しが必要

5　今後の方向性（担当課評価）

事業内容の方向性				
充実				
現状維持			○	
縮小				
廃止				
	ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性				

担当課評価の根拠	新たな生活様式などの社会情勢の変化により市民農園の需要は高まっており、市民農園の充実は都市農業の振興を図るためにも重要な取組であると考える。 また、農業所得の向上や産地育成のため、本市の農産物の魅力を国内外に発信することは重要な取組であると考える。
見直し・改善内容	ＪＡわかやまと連携し、市民農園開設費用を支援する制度のさらなる周知を図る。 また、多様な広報媒体やメディアの活用による魅力発信への取組の実施や商談会の実施により、国内外へ本市の農産物の魅力発信に努める。

事務事業チェックシート

事務事業No　　事業名

13284　**海外展開支援事業**

［長期総合計画］

分野別目標	1	安定した雇用を生み出す産業が元気なまち
政　策	5	国際交流の推進
施　策	2	国際戦略の推進
取組方針	2	海外展開の促進

［事業基本情報］

事業区分(1)	事業経費		管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務		法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計	一般会計		
	款	商工費		
	項	商工費		
	目	商工総務費		
	大事業	商工総務事業		
	中事業	海外展開支援事業		

事業種別	継続	関連個別計画			
事業年度	無し　～　無し	担当課・担当課長・Tel	国際交流課	稲垣　隆紀	435-1010
事業実施の根拠法令		関連課			

1　事業内容

	（「誰・何」をどういう状態にするための事業か）	全体事業概要
事業目的	市内事業者の海外展開を促進し、本市経済の活性化を図る。	本市経済に海外の活力や成長を積極的に取り込んでいくため、市内事業者の海外展開を支援する。

事業内容	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
	ジェトロ和歌山貿易情報センター負担金	ジェトロ和歌山貿易情報センター負担金	ジェトロ和歌山貿易情報センター負担金	ジェトロ和歌山貿易情報センター負担金	ジェトロ和歌山貿易情報センター負担金

2　事業コスト

事業費等（千円）		令和05年度		令和06年度		令和07年度		令和08年度		令和09年度	
		当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費		1,600	1,600	1,600	1,600	1,600	1,600	1,600	0	1,600	0
伸び率（%）		0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	△100%	0%	0%
人件費	正規職員	546	546	546	546	558	637	637	0	0	0
	正規職員以外	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	546	546	546	546	558	637	637	0	0	0
国庫支出金		800	800	800	800	800	800	800	0	800	0
県支出金		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市　債		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
そ の 他		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
一般財源（税等）		800	800	800	800	800	800	800	0	800	0
所要人数（人）	正規職員	0.07	0.07	0.07	0.07	0.07	0.08	0.08	0.00	0.00	0.00
	正規職員以外	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
主な予算内訳		貿易情報センター負担金１，６００千円									

3　目標及び実績

	指標名	単位		令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
活動指標	ジェトロ和歌山貿易情報センターの設置に係る負担金の支出	件	目標値	1	1	1	1	
			実績値	1	1	1		
			達成度(%)	100%	100%	100%	%	%
			目標値					
			実績値					
			達成度(%)					
成果指標	ジェトロ和歌山貿易センターへの相談件数に占める市内企業の割合	%	目標値	50	50	50	50	
			実績値	23.6	29	31		
			達成度(%)	47.2%	58%	62%	%	%
			目標値					
			実績値					
			達成度(%)					

4　事業の評価

評価基準						
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい		減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要		見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能		市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む		緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない		できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している（90%以上）		おおむね達成（70～90%未満）	○	達成していない（70%未満）
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある		貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある		できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない		見直しが必要

5　今後の方向性（担当課評価）

事業内容の方向性				
充実				
現状維持			○	
縮小				
廃止				
	ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性				

担当課評価の根拠	市内企業の海外販路を拡大し外国資本を呼び込むためには、ジェトロ和歌山の役割は大きく、中長期的にジェトロ和歌山と連携していくことが必要である。
見直し・改善内容	市内事業者からのニーズ等を和歌山市から伝え、それらを反映した事業を行ってもらうようにして連携していく。

事務事業チェックシート

事務事業No　18474　　事業名　**国際化推進事業**

［長期総合計画］

分野別目標	1	安定した雇用を生み出す産業が元気なまち
政　策	5	国際交流の推進
施　策	2	国際戦略の推進
取組方針	2	海外展開の促進

［事業基本情報］

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計	一般会計		
	款	商工費		
	項	観光費		
	目	国際交流費		
	大事業	国際交流事業		
	中事業	国際化推進事業		

事業種別	継続	関連個別計画			
事業年度	無し　～　無し	担当課・担当課長・Tel	国際交流課	稲垣　隆紀	435-1010
事業実施の根拠法令		関連課			

1　事業内容

	（「誰・何」をどういう状態にするための事業か）	全体事業概要
事業目的	姉妹・友好都市及び関係の深い都市等との関係性を活用した経済交流を促進する。	市内事業者の輸出を推進するための支援や、海外への和歌山市の魅力のＰＲを実施する。

事業内容	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
	台北市（台湾）での日本の観光・物産博への出展 在住外国人に向けた和歌山市の魅力ツアーの開催 事業者への海外販路開拓支援	台北市（台湾）での日本の観光・物産博への出展 在住外国人に向けた和歌山市の魅力ツアーの実施 事業者への海外販路開拓支援	台北市（台湾）での日本の観光・物産博への出展 在住外国人に向けた和歌山市の魅力ツアーの実施 事業者への海外販路開拓支援	台北市（台湾）での日本の観光・物産博への出展 在住外国人に向けた和歌山市の魅力ツアーの実施 事業者への海外販路開拓支援	台北市（台湾）での日本の観光・物産博への出展 在住外国人に向けた和歌山市の魅力ツアーの実施 事業者への海外販路開拓支援

2　事業コスト

事業費等（千円）		令和05年度		令和06年度		令和07年度		令和08年度		令和09年度	
		当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費		1,225	1,042	1,182	1,050	1,132	1,125	1,098	0	0	0
伸び率（%）		35.7%	152.9%	△3.5%	0.8%	△4.2%	7.1%	△3%	△100%	△100%	0%
人件費	正規職員	13,325	16,597	16,610	15,051	16,955	17,512	17,512	0	0	0
	正規職員以外	1,906	1,906	1,905	1,973	2,130	2,307	2,307	0	0	0
	小計	15,231	18,503	18,515	17,024	19,085	19,819	19,819	0	0	0
国庫支出金		354	348	348	334	401	399	406	0	0	0
県支出金		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市　債		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
そ の 他		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
一般財源（税等）		871	694	834	716	731	726	692	0	0	0
所要人数（人）	正規職員	1.71	2.13	2.13	1.93	2.13	2.20	2.20	0.00	0.00	0.00
	正規職員以外	0.84	0.84	0.84	0.87	0.84	0.91	0.91	0.00	0.00	0.00
主な予算内訳		会場借上料414千円等									

3　目標及び実績

	指標名	単位		令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
活動指標	姉妹都市等での物産・観光PRなどの回数	回	目標値	4	4	4	4	
			実績値	2	2	2		
			達成度(%)	50%	50%	50%	%	%
			目標値					
			実績値					
			達成度(%)					
成果指標	姉妹・友好都市及び交流がある都市に輸出できた事業者数	社	目標値	4	4	4	4	
			実績値	1	1	2		
			達成度(%)	25%	25%	50%	%	%
			目標値					
			実績値					
			達成度(%)					

4　事業の評価

評価基準						
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい		減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要		見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か		市が行うべき	○	他の主体との協働も可能		市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む		緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない		できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している（90%以上）		おおむね達成（70～90%未満）	○	達成していない（70%未満）
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある		貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか		できない	○	制約はあるが可能性はある		できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない		見直しが必要

5　今後の方向性（担当課評価）

事業内容の方向性					
	充実			○	
	現状維持				
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
	コスト投入の方向性				

担当課評価の根拠	市内事業者の海外販路拡大の支援や和歌山市の魅力発信を推進するために必要である。
見直し・改善内容	中小企業の海外販路開拓促進を重点とする国際戦略を策定する。 海外販路開拓に興味のない事業者にも海外を販路開拓先とするきっかけを作り、すそ野の拡大を目指す。